

森林×気候変動 ～地域の課題解決に向けて～



地域名：那須塩原市
地域パートナー：那須塩原市気候変動対策課

16班 コミュニティデザイン学
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

齋藤翔哉 山本景都
千葉奈央 平塚真央
安藤旭 川島耕太
近藤伸也 (社会基盤)

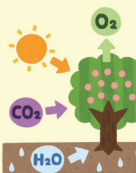


1. 背景

～森林保全と気候変動の関係～

森林保全による効果

① **二酸化炭素の削減**
光合成によって二酸化炭素を吸収し、酸素を排出する。



② **雨水の保水**
木が地面に根を張ることで、土砂崩れを防止する



森林保全≠木を切らない

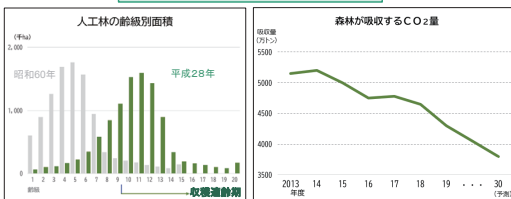


図1. 年齢の推移

図2. 年齢とCO2吸収量

◎木の適齢期を維持する

木には最も収穫に適した「適齢期」というものがある。これを過ぎてしまった木は、光合成や保水機能が低下してしまう。近年の日本の森林は木の高齢化が進んでおり、**森林のサイクル**を循環させることがより重要になっている。

～那須塩原市の現状と課題～

① **林業従事者の不足**
⇒森林サイクルの循環が滞り、増加傾向にある自然災害に対応できなくなる
(今後土砂災害が増加する危険性)



② **森林保全の重要性が地域住民に認知されていない**
⇒植樹イベントの開催やPR活動を行うも、集客がなく、効果が十分に出ない

図1は林野庁業務資料、図2は林野庁推定-日本経済新聞より引用

2. 目的

～那須塩原市の課題を踏まえて～

那須塩原市において、気候変動や森林の現状に対する**認知度向上のために、効果的な手段を検討**する。
また、森林保全によって得られる恩恵を市民の方に広く広報し、**当事者意識**を持ってもらうために活動する。

3. 方法

～各Cycleでの活動～

〈1st Cycle〉

●現地調査

那須塩原市森林組合の方から組合や森林の現状について学んだ。
また、実際に那須塩原市の森林に入り、伐採や植樹を行っている様子を見学した。



図3. 伐採された森林の様子

〈2nd Cycle〉

●ヒアリング&アンケート調査

黒磯駅周辺でアンケート調査、高齢者にはヒアリング調査を行った。
那須塩原市民の森林への意識や効果的な広報の方法を検討した。



図4. アンケート用紙



図5. イベントのチラシ

●森林イベントの企画と広報

沿ッ原ダム周辺での「散歩&伐採体験イベント」を企画。
また、InstagramやX、チラシを作成しイベントの広報を行った。

〈3rd Cycle〉

●イベント実施

現場で実際にイベントに参加&運営。
また、当日は学生で考えた、森林に関するクイズを行った。



図6. イベントの様子

●森林保全の重要性の発信

気候変動と関連付けたポスターの作成とSNSの運営を行った。また、ポスターやSNS投稿について「見やすさ」や「関心の変化」等のアンケートを実施。

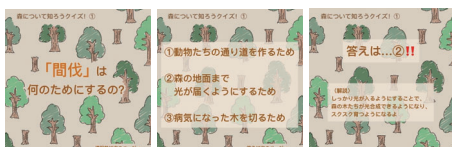


図7. SNS投稿による森林保全の広報



図8. ポスター

4. 分析結果

～イベントとアンケート調査を踏まえて、効果的なPR方法を分析する～

〈イベント開催後のアンケート結果〉

【大人向けアンケート】

- ・イベントの満足度→全員が「満足した」「とても満足した」と回答。
- ・森林と気候変動の関係を知ることができたか
→5人中4人が「知ることができた」「とても知ることができた」と回答。

【子供向けアンケート】

- ・イベントは楽しかったか
→全員が「楽しかった」と回答。
- ・森林の役割について分かったか
→全員が「分かった」と回答。
- ・森林が好きになったか
→全員が「好きになった」と回答。

親子向けのイベントで、大人と子供、どちらにも高い評価を得られた

〈ヒアリング調査の結果〉

Q. どんな広報が効果的だと思いますか？

- 図書館や公民館のチラシ
- SNSでの広報
- 手作り広告や手描きのものに目を引かれる

〈掲示したポスターとSNS投稿についての実際の評価〉

- 【ポスターについて】
- ・デザインが見やすく、内容が伝わりやすい。
- ・学生が作成してくれてありがたい。

- 【SNS投稿について】
- ・手書きでイラストが可愛い。
- ・クイズ形式で子供にもわかりやすい。
- ・公民館などに掲示しても良いと思う。

ヒアリング通り、手描きのイラストは好評だった

SNSでは、那須塩原市地域おこし協力隊や栃木県の情報を発信しているアカウントに紹介してもらい、200人弱のフォロワーを獲得することができた。

5. 提案

～森林保全活動を繋いでいくための提案～

3rdCycleで行ったイベントでは、参加してもらった方々から良い反応を得られた。実際に森林に触れる場所を提供することは、森林保全とそれによる気候変動の対策を知る上でとても効果的であると考えられた。また、SNSやポスターによるPR活動の成果を踏まえ、手描きのイラストを加える等、工夫するほど多くの人に関心を持ってもらえるようになった。持続的に森林保全を続けていくため、私たちは次の活動を提案する。

1. 積極的なイベントの実施(植樹や木工品作成のワークショップ等)
2. 那須塩原市の森林についての専用アカウント作成と投稿(専用にして運用し続けることで、イベントの集客に繋がる)